

「農林水産物等輸出促進全国協議会」総会の開催

「農林水産物等輸出促進全国協議会」総会が、平成 24 年 11 月 14 日（水曜日）午後には農林水産省 7 階講堂において開催されました。

昨年は、東日本大震災もあって開催されず、2 年ぶりの開催となりました。



開会の後、協議会会長 茂木友三郎キッコーマン（株）名誉会長の挨拶、名誉会長 郡司彰農林水産大臣の挨拶に続いて、小川良介 食料産業局輸出促進グループ長から「新たな輸出戦略に基づく取組」について以下の説明がありました。

2011 年 11 月に取りまとめられた新たな輸出戦略「農林水産物・食品輸出の拡大に向けて」、2012 年 7 月に閣議決定された「日本再生戦略」等に基づき、2020 年までに農林水産物の輸出額 1 兆円を実現という目標であること。新たな輸出戦略として、

1. 原発事故の影響への対応については、国と民間が協力して、粘り強く、タイムリーに、誠実・丁寧に対応
2. 国家戦略的なマーケティングとして①ジャパンプランドの確立と輸出促進体制の整備②事業者支援の充実、サポート体制の強化
3. ビジネスとしての輸出を支える仕組みづくりとして、ファンドの創設など輸出支援スキームの構築
4. 確かな安全性・品質の確保と貿易実務上のリスク等への的確な対応として①貿易実務上のリスクへの対応②グローバルスタンダード追求③ジャパン・ブランドの保全・向上
5. 海外での日本の食文化の発信①ユネスコ無形文化遺産代表一覧表への登録②観光など他分野、他産業との連携③文化発信機能の強化 等を図ること。

また、第 6 回日本食海外普及功労者の表彰及び受賞者による講演も併せて行われました。